

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	本城・的場池公園内スポーツ施設
	所 在 地	北九州市八幡西区御開四丁目 16 番 1 号他
指定管理者 （自己評価者）	名 称	株式会社スピナ
	所 在 地	北九州市八幡東区平野二丁目 11 番 1 号
指定期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 1 2 年 3 月 3 1 日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
体験イベント実施事業（未経験者）	☒	×	令和 8 年度以降実施予定
講師を招いたトレーニング事業	☒	○	
健康増進運動プログラム事業	☒	○	
健康食育メニュー講座事業	☒	×	令和 8 年度以降実施予定
子ども向けイベント開催事業	☒	○	
学校連携支援事業（授業・部活動）	☒	○	
地域交流イベント事業	☒	×	令和 8 年度以降実施予定
独自アンケート実施事業	☒	○	
自主事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
スポーツ教室事業	☒	○	
体操教室事業（ヨガ・ピラティス等）	☒	○	
文化教室事業（手話等）	☒	○	
用品レンタル事業	☒	○	

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント		自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		
(1) 施設の設置目的の達成		評価レベル (0～5)
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。		5
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。		
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。		
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。		
[評価の理由、要因・原因分析]		
① 計画に則った管理運営および目標達成		
本施設においては、設置目的である「スポーツの普及・振興」「市民の健康増進」「地域交流の促進」に基づき、基本理念である「地域と共にウェルビーイングなスポーツ交流拠点の実現」を軸に、計画に沿った管理運営を実施した。 本城陸上競技場においては、市内唯一の第2種公認競技場として各種大会の円滑な運営を支え、競技者から一般利用者までスポーツに親しむ幅広いニーズに対応した。また、海外チームの合宿の受け入れなど、主幹部門と綿密な打合せを行い快適に利用いただけるよう努めた。 的場池スポーツ施設においては、日常利用から大会利用まで安定した運営を行い、地域スポーツ拠点としての機能を果たした。また、大会機材の不調時の迅速な対応など、現場対応力を活かした施設維持管理により、安全かつ安定した施設運営を実現した。さらに、両施設共通の取組として、椅子・机の入替や保護カバーの設置による安全対策、グラウンドの小石除去や設備不具合への迅速対応を実施し、施設全体の安全性および機能維持の向上を図った。これらにより、施設特性を活かした運営を行い、設置目的に沿った成果を着実に達成した。		
② 利用者増加および利便性向上の取組み		
本施設においては、SNS（LINE・Instagram）を活用した情報発信を新たに開始し、従来のホームページ中心の広報から拡張することで、利用者の利便性向上を図った。 本城陸上競技場では、利用者数が前年に比べて約2.6%増加した。特に大型合宿を受け入れることで施設の利用を促進し、空き時間を活用した営業活動によって新たな利用機会を創出した。また自主イベントで「手作り凧あげ大会」を開催し、これまで本施設を利用したことのない子どもたちが施設を訪れる機会を設けた。さらに、券売機の導入により手続きの簡素化を図り、利用者の利便性向上に寄与した。 本城球場および本城運動場においては、それぞれ約4.4%増、約24.8%増と前年を上回る実績となり、施設全体として利用促進の成果を上げた。		

的場池スポーツ施設においては、地域利用を中心とした安定的な利用確保に努め、継続的な利用実績を維持した。また、大会開催時には駐車場混雑対策として、主催者との事前打合せによる駐車場見取り図の提供および駐車区画数の明示を徹底し、混雑緩和と円滑な運営を実現した。さらに、新予約システム導入時には個別支援を行い、利用者の負担軽減と利便性向上を図った。

③ 施設間連携の取組みと効果

本施設群においては、本城スポーツ施設と的場池スポーツ施設を一体的に管理する特性を活かし、施設間の有機的な連携を図った。大会開催時や利用状況に応じた調整を行い、利用者ニーズに応じた柔軟な受入体制を構築した。これにより、施設全体として効率的かつ効果的な管理運営を実現するとともに、利用機会の確保および利便性向上につなげた。

また、本城スポーツ施設で使用されていた月次の費用確認フォーマットを他の施設にも展開し、活用することで毎月の執行状況を確認し合い、離れた2つの施設の運営を円滑に行った。

④ 効果的な営業・広報活動とその成果

本城スポーツ施設においては、学生をはじめ若年層の利用が多いため、SNS（LINE・Instagram）を活用した情報発信を実施した。専用利用日や大会情報をタイムリーに発信することで、競技利用者への情報提供の充実を図った。

的場池スポーツ施設においては、シニアの利用者も多いことから掲示物や丁寧な窓口対応等を通じて自主事業や地域利用に関する情報提供を行い、地域住民への周知および利用促進につなげた。

また、両施設共通の取組として、空き時間を活用した営業活動や地域資源を活かした企画を実施し、新たな利用価値の創出を図った。

これらの取組により、本城陸上競技場の SNS フォロワー数は開設から4か月で1,026人に達し、施設認知の向上および利用促進に寄与した。

(単位：人)

【利用者数】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
要求水準	施設統合の 為情報なし	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
目標値		279,000	280,000	281,000	282,000	283,000
実績		331,257	—	—	—	—

独自目標 SNS フォロワー数	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
目標値(人)	500	1,100	1,200	1,300	1,400
実績	1026	—	—	—	—
達成率	200%				

※ ・・・評価対象年度

(2) 利用者の満足度

評価レベル
(0～5)

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言える

か。	4
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。	
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。	
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	

【評価の理由、要因・原因分析】

① **利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。**
本施設においては、利用者満足度の向上を目的として、接遇の向上および利用環境の整備に継続的に取り組んだ。
本城スポーツ施設においては、大会利用者および個人利用者双方に対し円滑な運営と丁寧な対応を実施し、「利用しやすい」「対応が良い」といった評価を得ている。
的場池スポーツ施設においては、日常利用者とのコミュニケーションを重視した運営により、地域に根ざした満足度の高い施設として評価を得ている。
これらの結果から、施設利用者の満足は概ね得られていると判断できる。

② **利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。**
利用者の意見については、窓口対応や日常的なコミュニケーション、アンケート等を通じて把握したうえで、職員間で共有し、内容に応じた対応方針を整理した。
本城スポーツ施設においては、大会主催者との事前調整の中で寄せられた意見を踏まえ、控室の配置を考慮するなど運営方法の改善に反映させた。
的場池スポーツ施設においては、従来の紙アンケートに加え、独自にオンライン形式のアンケートを導入し、QRコードをロビーや休憩スペース等に掲示することで、意見収集の機会拡充を図った。そのうえで、清掃状況や利用環境に関する要望に対し、スリッパの整理整頓や利用マナーの周知強化など具体的な改善を実施した。
これらの取組により、利用者の声を把握するだけでなく、改善につなげ、その結果を運営に反映する一連のサイクルを確立し、継続的なサービス向上を実現した。

③ **利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。**
苦情対応については、内容を正確に把握したうえで迅速かつ丁寧に対応し、必要に応じて再発防止策を講じた。本城スポーツ施設においては、大会運営時の競技場と運動場の利用調整や、大会機材の不具合に対し迅速に対応することで、利用者の不満解消に努めた。
的場池スポーツ施設においては、日常利用における軽微な苦情にも丁寧に対応し、安心して利用できる環境の維持に努めた。また、対応内容を職員間で共有することで、類似事案の未然防止および対応力向上を図った。

④ **利用者への情報提供が十分になされたか。**
情報提供については、ホームページに加え、SNS（LINE・Instagram）を活用した多面的な情報発信を実施した。
本城スポーツ施設においては、専用利用日や大会情報をタイムリーに発信し、競技利用者への利便性向上を図った。
的場池スポーツ施設では、自主事業や地域利用に関する情報を積極的に発信し、地域

住民への周知を強化した。また、新予約システム導入時には、利用者が登録する段階から職員が共に操作しながらサポートした。このように、一人ひとりの利用者に対して個別の支援を行うことで、円滑な利用開始につなげた。

これにより、必要な情報を適切に提供できる体制を整備した。

⑤ その他サービスの質の維持・向上の具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

サービスの質の維持・向上に向け、日常的な声掛けや丁寧な窓口対応を行うとともに、施設の点検・修繕を適切に実施した。

本城スポーツ施設においては、競技環境の維持管理のため、安全かつ快適な利用環境の確保に努めた。特に芝生管理の面では、今年度が初めての運用となるが、利用者から高い評価を得ている。

的場池スポーツ施設においては、体育館休館中に整理整頓の強化や備品更新、施設内環境の改善を行い、利用者の快適性向上を図った。

これらの取組により、利用者満足度の維持・向上および継続利用の促進につながる成果を得た。

施設利用満足度	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
要求水準	施設統合の 為情報なし	80%	80%	80%	80%	80%
目標値		94%	94.5%	95%	95%	95%
実績		92.7%	—	—	—	—
有効回答数		620人				

※ ☐・・・評価対象年度

職員対応満足度	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
要求水準	施設統合の 為情報なし	80%	80%	80%	80%	80%
目標値		95%	95.5%	95.5%	95.5%	95.5%
実績		99.2%	—	—	—	—
有効回答数		618人				

※ ☐・・・評価対象年度

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

評価レベル
(0～5)

3

【評価の理由、要因・原因分析】

① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための取組み

本施設においては、修繕対応の内製化および既存資源の有効活用により、経費の効率的な低減を図った。

本城スポーツ施設においては、トイレセンサーの電池交換やスターターピストルの部品交換を職員で対応することで外部委託費を削減するとともに、迅速な復旧を実現した。

的場池スポーツ施設においては、ブラインドが破損した際に、利用頻度の少ない会議室から流用するなど、備品の流用や延命化を図ることでコスト抑制に努めた。

また、両施設において軽微な修繕や職員で対応可能なものは内製化することで、外部委託費の削減と対応力向上を両立した。

これらの取組により、経費低減において具体的かつ実効性のある成果を上げた。

② 再委託業務の適正管理とコスト抑制

清掃、警備、設備保守点検等の再委託業務については、業務内容および実施頻度を精査し、必要な水準を確保しつつ過剰な仕様とならないよう委託内容を適正に管理した。

本城陸上競技場においては、大会利用状況に応じて芝生のメンテナンスを入れるなど柔軟な業務調整を行い、効率的な委託運用を実施した。

的場池スポーツ施設においては、大会利用時に使用する駐車場の草刈りを内製化するなど、委託業務を適正に管理した。

これにより、サービス水準を維持しながら経費の最小化を実現した。

③ 経費の効果的・効率的な執行

経費執行にあたっては、必要性や優先順位をしっかりと見極め、無駄のない運用を徹底した。

本城スポーツ施設では、設備管理や運営のために年間計画を作成し、効率的な資源配分を行った。そのうえで、毎月管理することで必要な支出を適切に実施した。

的場池体育館では、新たに導入した空調システムについて、WBGTだけでなく利用状況や利用者層に応じて細かく対応し、日常的なコスト意識の徹底により光熱費の削減に取り組んだ。

さらに、両施設では備品の延命化や計画的な修繕を行い、突発的な支出を抑えつつ安定した施設運営ができるよう努めた。この結果として、高いサービス水準を維持しながら効率的で効果的な経費執行が実現した。

(単位：千円)

【支 出】		6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
光熱水費	計画	施設統合 の為情報 なし	22,247	22,247	22,247	22,247	22,247
	実績		18,009	—	—	—	—
修繕費	計画		28,149	15,149	15,149	15,149	15,149
	実績		36,734	—	—	—	—
その他管理運営費	計画		90,955	90,955	90,955	90,955	90,955
	実績		90,775	—	—	—	—
計	計画		141,351	128,351	128,351	128,351	128,351
	実績		145,518	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

※人件費はその他管理運営費に含む

(2) 収入の増加	評価レベル (0～5)
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	3
② 使用料（利用料金）収入以外に、自主事業による収入や、企業などの外部からの収入（例：協賛金など）を獲得できているか。	
③ 自主事業による収益を活用した施設の魅力向上などの投資や、サービス向上などの指定管理業務や市への収益還元の取組みがなされたか。	

【評価の理由、要因・原因分析】

① 収入を増加するための具体的な取組み

本施設においては、利用促進および収入増加を目的として、広報強化と営業活動の両面から取組を実施した。

本城スポーツ施設においては、大会利用や合宿利用の積極的な受入れに加え、大会利用後に空き時間が発生した場合に、専用利用する団体へ営業活動を行うことで、収入増加に努めた。

的場池スポーツ施設においては、地域利用を中心とした継続的な利用者が多いことから、日々の声掛けなど良好な関係を築くことで、安定的な利用につながる運営を実施した。

また、両施設において SNS(LINE・Instagram)を活用した情報発信を強化し、施設認知の向上および新規利用者の獲得を図った。

これらの取組により、利用機会の拡大と収入増加につながる成果を得た。

② 自主事業および外部収入の確保

本施設においては、使用料収入に加え、体操教室などの実施により収入の多角化を図った。

本城スポーツ施設においては、大会等の専用利用による利用料金収入の増加を図るとともに、ラインペイントを行い自主事業収入の増加に取り組んだ。

的場池スポーツ施設においては、スポーツ教室を継続的に実施することで、自主事業収入の安定確保につなげた。

また、両施設において、イベント実施や取組にあたり関係団体との連携を図ることで、協賛や外部資源の活用にも取り組んだ。

これにより、利用料金収入以外の収入確保および収益基盤の強化を図った。

③ 収益の活用および還元

自主事業等による収益については、施設全体のサービス向上および魅力向上につながる取組に活用した。

本城スポーツ施設においては、競技環境の維持管理や備品の更新に活用し、安全で快適な利用環境の確保につなげた。

的場池スポーツ施設においては、利用環境の改善や備品整備等に活用し、地域利用者の利便性向上を図った。

また、両施設において、広報強化や自主事業の充実に再投資することで、利用促進と収入増加の好循環を構築した。

これらにより、収益を活用したサービス向上および持続可能な施設運営を実現した。

(単位：千円)

【収 入】		6 年度 (更新前)	7 年度 (1 年目)	8 年度 (2 年目)	9 年度 (3 年目)	10 年度 (4 年目)	11 年度 (5 年目)
指定管理 料収入	計画	施設統合 の為情報 なし	141, 351	126, 899	126, 899	126, 899	126, 899
	実績		146, 431	—	—	—	—
計	計画		141, 351	126, 899	126, 899	126, 899	126, 899
	実績		146, 431	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

(単位：千円)						
【使用料 収入】	6年度 (更新前)	7年度 (1年目)	8年度 (2年目)	9年度 (3年目)	10年度 (4年目)	11年度 (5年目)
使用料実績	施設統合の為情報無	15,556	—	—	—	—

※ ・・・評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

評価レベル
(0～5)

- | | |
|--|---|
| ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。 | 4 |
| ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。 | |
| ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 | |

【評価の理由、要因・原因分析】

① 人員配置の合理性

本施設においては、利用状況や業務内容に応じた適正な人員配置を行い、効率的かつ安定的な施設運営を実施した。

本城スポーツ施設においては、大会開催時や繁忙期に応じて人員を重点的に配置し、競技運営および安全管理に支障が生じない体制を維持し、経理事務などをスピナ本部に集約することにより施設運営に専念する時間を確保した。

的場池スポーツ施設においては、日常利用を中心とした運営形態に応じて、必要最小限かつ効果的な人員配置を行い、効率的な施設管理を実現した。

また、両施設において、複数施設を一体的に管理する特性を活かし、状況に応じた応援体制を構築することで、限られた人員の中でも柔軟かつ合理的な運営を行った。

これにより、利用者サービスの質を維持しながら、効率的な人員運用を実現した。

② 職員の資質・能力向上の取組み

職員の資質・能力向上に向け、日常業務を通じた指導および情報共有を継続的に実施した。

本城陸上競技場においては、大会対応や利用者対応を通じて実務経験を積ませることで、現場対応力の向上を図った。

的場池スポーツ施設においては、日常的な窓口対応を通じて接遇力の向上を図るとと

もに、利用者目線に立った対応の徹底に努めた。 また、両施設において、修繕対応の内製化や業務改善の取組を通じて、職員の実務スキルおよびコスト意識の向上を図った。 これにより、職員一人ひとりの対応品質の向上と、組織全体の運営力強化につなげた。 ③ 地域・関係団体との連携・協働 地域団体および関係機関との連携を図り、地域に根ざした施設運営を推進した。 本城スポーツ施設においては、大会主催者や競技団体との連携により、円滑な大会運営と利用者サービスの向上を実現した。また地元自治区のイベントでは、事前に打ち合わせを行い、机の貸し出しを行うなど貢献した。 的場池スポーツ施設においては、地域団体や利用者との関係構築を通じて、継続的な利用促進と地域密着型の運営を行った。 また、両施設において、関係機関と連携した施設管理や課題対応を行うことで、利用環境の改善および安全性の向上を図った。 これにより、公共施設として求められる役割を果たすとともに、地域との信頼関係の構築につなげた。	
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	4
【評価の理由、要因・原因分析】 ① 個人情報保護 本施設においては、利用者の個人情報について関係法令および社内規程に基づき適切に管理し、情報漏えいや不正利用の防止に努めた。 本城スポーツ施設および的場池スポーツ施設の双方において、取扱範囲の明確化や管理責任の所在を明確にするとともに、書類およびデータの適正管理を徹底した。 これにより、個人情報保護に関する適正な運用を継続的に実施した。 ② 平等利用の確保 本施設は利用者を限定しない施設として、すべての利用者が公平に利用できるよう配慮した運営を行った。 本城スポーツ施設においては、大会利用と一般利用の調整を適切に行い、利用機会の確保に努めた。 的場池スポーツ施設においては、地域利用者を中心に、利用ルールの周知および公平	

な運用を徹底した。

これにより、特定の利用者に偏らない公平性を確保した施設運営を実現した。

③ 利用者選定の公平性

大会利用や専用利用においては、利用条件および手続きに基づき、公平かつ適切な利用者選定を実施した。

本城スポーツ施設においては、競技団体等との調整を行いながら、適正な利用割当を行った。

的場池スポーツ施設においては、利用申請に基づき公平性を確保した運用を実施した。

これにより、利用機会の公平性を確保した。

④ 収支の適正管理

施設の管理運営に係る収支については、関係規程に基づき適正に処理し、不適切な支出が生じないように管理を徹底した。

本城スポーツ施設においては、本年度より弊社が管理を担当しており、券売機の導入にあたっては本社経理課が運用ルールを確認した上で、日々の運用を行っている。

経費執行の際には、内容精査および必要性の確認を行い、透明性および適正性の確保に努めた。

これにより、健全な財務管理体制を維持した。

⑤ 日常の安全対策

日常の事故防止対策として、施設設備の定期点検や巡回確認を実施し、修繕が必要な箇所を早期に発見することで安全管理の徹底を図った。

本城スポーツ施設では、競技環境の維持やグラウンド整備に努め、安全確保に力を入れた。

的場池スポーツ施設では、施設長が応急手当普及員の資格を取得し、緊急時の対応について職員に教授できる体制を整えた。また、備品更新や利用環境改善にも取り組み、安全で快適な利用環境を提供した。

さらに、両施設では WBGT 値の掲示や設備点検の徹底によって事故未然防止にも努めた。

⑥ 防犯・防災および危機管理体制

防犯および防災対策については、緊急時を想定した体制整備を行うとともに、関係機関との連携を図りながら適切な危機管理体制を構築した。

本施設において、日常的な巡回や不安全箇所がないか安全確認を実施するとともに、無断駐車対策等の防犯対策を講じた。

これにより、安全・安心な施設運営を継続的に実現した。

⑦ 事故・災害時の対応

事故発生時や非常災害時においては、迅速かつ適切な対応が行えるよう、対応手順の共有および体制整備を行った。

本城スポーツ施設においては、大会時のトラブルや設備不具合に対し迅速な対応を実施した。

的場池スポーツ施設においては、日常利用時の事故対応に備えた体制を整備し、利用者の安全確保に努めた。

また、両施設において職員間で情報共有を行い、突発的な事象にも適切に対応できる体制を確保した。これにより、利用者の安全を最優先とした運営を実現した。

【総合評価】

〔全体的な評価・今後の対応等〕

本施設においては、設置目的である「スポーツの普及・振興」「市民の健康増進」「地域交流の促進」に基づき、計画に沿った適正な管理運営を実施した。

本城陸上競技場では、市内唯一の第2種公認競技場として大会利用を中心とした広域的な利用に対応し、安定した施設運営および利用促進を実現した。また、「手作り凧揚げ大会」を実施することで、これまで利用したことのない層への施設利用の機会を提供し、新たな利用者増へ繋げるきっかけづくりをした。

さらに、本城施設所長の事務業務をスピナ本部で行うことで、施設管理に費やす時間が増えた。

的場池スポーツ施設では、地域密着型施設として日常利用を中心とした安定的な運営を行い、継続的な利用確保と利用者満足度の向上につなげた。

両施設では SNS を活用した情報発信や営業活動により利用者数の増加を図りつつ、駐車場混雑対策や予約システム導入時の個別支援など、利用者目線に立った取り組みも実施し利便性向上に努めた。また、安全対策として設備点検や備品更新を計画的に行い、日常的な巡回や環境整備を徹底することで、安全で快適な利用環境の確保に努めた。

経費面では修繕対応の内製化や既存資源の有効活用によるコスト削減が図られたほか、効率的な予算執行が実現されており、その結果サービス水準の維持と効率性の向上を両立した。加えて地域団体や関係機関との連携を図りながら施設運営を行うことで、公共施設として求められる役割を果たした。

これらの取り組みにより、有効性・効率性・適正性の各観点においてバランスの取れた施設運営が行われており、その結果として利用者満足度は維持・向上および持続可能な運営基盤の構築につながったものと評価できる。

今後は、多様化する利用者ニーズへの対応としてサービス充実を図るとともに SNS 等による情報発信強化、自主事業拡充によってさらなる利用促進と収入確保の強化を図る。

また老朽化設備への計画的な対応や安全対策の強化を継続し、職員の対応力向上及び地域連携の深化によって、一層魅力ある施設運営へと推進していく。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2		要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。

施設概要（本城・的場池公園内スポーツ施設一覧）

No	施設名	設置根拠条例	所在地 (北九州市)	設置目的
1	本城球場	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	八幡西区御開四丁目16番	スポーツの普及及 び振興を図り、市 民の心身の健全な 発達及び明るく豊 かな市民生活の形 成に資する。
2	本城陸上競技場 (愛称：黒崎播磨陸上競技場 in HONJO)	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	八幡西区御開四丁目16番1号	
3	本城運動場	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	八幡西区御開四丁目16番	
4	的場池体育館	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	八幡西区的場町1番2号	
5	的場池球場 (愛称：福岡トヨタ的場池スタ ジアム)	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	八幡西区的場町1番内	
6	的場池弓道場	北九州市都市公園、霊園、 駐車場等の設置及び管理に 関する条例	八幡西区的場町1番2号	